

[インデックスに戻る](#)

13. 平面ベクトル

13-2. ベクトルと平面図形

13-2-1. 位置ベクトル

13-2-1-1. 位置ベクトルの定義

平面上で、1つの点 O を決めておく。このとき、平面上の任意の点 P について、 $\vec{p} = \overrightarrow{OP}$ を満たすベクトル \vec{p} は、ただ1つに定まる。逆に、任意のベクトル \vec{p} に対して、 $\vec{p} = \overrightarrow{OP}$ を満たす点 P も1つに定まる。このような \vec{p} を点 O に関する点 P の位置ベクトルという。点 P の位置ベクトルが \vec{p} であることを、記号で、 $P(\vec{p})$ と表す。

点 O と2点 A 、 B について

$$\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}$$

であるから、平面上のベクトルは、2つの位置ベクトルの差として表すことができる。

2点 $A(\vec{a})$ 、 $B(\vec{b})$ に対して

$$\overrightarrow{AB} = \vec{b} - \vec{a}$$

[インデックスに戻る](#)